広報
ニセコ
Public Relations of NISEKO
No.552
April
2008

4

［特集1］平成20年度　まちの仕事の方針……2
［特集2］小さなまちの将来像を考える……7
まちのカレンダー……1
まちの話題……9
みんなのページ……11
くらしの情報……17

卒業式を終え、学校生活最後の旅立ちのとき
お世話になった先生と記念写真を撮る卒業生のみなさん
（ニセコ高校卒業式にて）

4月 APRIL

The calendar of a town

まちのカレンダー

公＝公民館　役＝役場　運＝運動公園
幼＝幼児センター　体＝総合体育館　あ＝あそぶっく
西＝西富地区町民センター　有＝有島記念館　町＝町民センター

★総合体育館の一般開放は
毎週水曜日、土曜日と日曜日です。
水曜日…午後7時から午後10時
土曜日…午前9時から午後10時
日曜日…午前9時から午後5時

春の全国交通安全運動

4月6日(日)～15日(火)

○二輪車の運転は十分注意しましょう
○スピードの出し過ぎに注意しましょう
○後部座席もシートベルトを着用しましょう

6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)
総合体育館臨時休館日	●ニセコ小学校入学式／同校：10:00～ ●近藤小学校入学式／同校：10:00～ ●昆布小学校入学式／同校：10:00～ あそぶっく休館日	●ニセコ中学校入学式／同校：9:30～ 夜間当番医 蘭 く あそぶっく休館日	●ニセコ高校入学式／同校：10:00～ もやさないごみ収集日(水曜日地区) あそぶっく休館日	あそぶっく休館日	もやさないごみ収集日(金曜日地区) あそぶっく休館日	あそぶっく休館日
13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	19(土)
あそぶっく休館日	●すこやか健康教室（川北方面）／綺羅乃湯：10:00～ ●放課後子ども教室／公：13:40～ あそぶっく休館日	●近藤小学校PTA総会／近藤地域コミュニティセンター：18:00～ 夜間当番医 蘭 く あそぶっく休館日	●ポリオ予防接種／ニセコ医院：13:00～	●国保加入者人間ドック／札幌市内：役場前6:00出発 ●乳幼児健康診査／町：13:30～	●国保加入者人間ドック／札幌市内：役場前6:00出発 ●すこやか健康教室（南西方面）／綺羅乃湯：10:00～ ●近藤小学校授業参観日／同校：13:25～	●ニセコ中学校授業参観日／同校：9:40～ ●ニセコ中学校PTA総会／同校：10:40～
20(日)	21(月)	22(火)	23(水)	24(木)	25(金)	26(土)
●ニセコ小学校授業参観日／同校：9:00～ ●ニセコ小学校PTA総会／同校：10:00～	●すこやか健康教室（東方面）／綺羅乃湯：10:00～ ●ニセコ町サミット対策会議／町：13:30～ あそぶっく休館日	夜間当番医 蘭 く	●歯科検診・フッ素塗布／町：12:45～ ●こんにちは町長室／役：13:30～15:00 もやさないごみ収集日(水曜日地区)	●寿大学開講式・学習会／町：10:15～	●親子スポーツ教室説明会／体：10:00～ ●行政推進員会議／町：13:30～ もやさないごみ収集日(金曜日地区) あそぶっく休館日	当番医 蘭
27(日)	28(月)	29(火)	30(水)			
当番医 蘭	●放課後子ども教室／公：13:40～ あそぶっく休館日	昭和の日 夜間当番医 蘭 く あそぶっく休館日	●すこやか健康教室（市街地区）／公：10:00～			

●夜間･休日の急患対応
倶知安厚生病院
☎22-1141
●急患受付
365日24時間対応

●平日夜間、土・休日対応
蘭 **蘭越診療所**（蘭越）　☎57-5424
く **くとさん外科胃腸科**（倶知安）
☎21-6410

●平日夜間受付
午後5時～午後7時
●土曜受付
正午～午後5時
●日曜･祝日受付
午前9時～午後5時

特集１：

平成20年度

まちの仕事の方針

「みんなでつくる、元気と安らぎのある町」を目指して

新年度がスタートしました

町と町教育委員会では、３月に行われた町議会で新年度予算を決めるとともに、まちづくりの方針である「町政執行方針」「教育行政執行方針」を明らかにしました

今回の特集では、町長と教育長が示した方針の内容を抜粋してお伝えします

町政執行方針

「国」が推し進めてきた国庫補助金の廃止・地方交付税の見直しなど三位一体改革による地方財政への影響は依然として厳しいものがあります。本町においても、町債の元利償還金が歳出の24％を占めるなど財政状況は硬直化していますが、国の示す「平成20年度地方財政計画」では、都市と地方の格差是正措置の実施など地方への配慮がなされており、私たち小規模自治体の一定水準の財源が確保される見込みです。

　このため、財政的には引き続き予断を許さない状況ですが、平成20年度予算では、町税をはじめ、国・道支出金の収入を可能な限り見込み、これまで先送りし断念してきた事業の再生に取り組むほか、新たな行政課題の要望に対しても前向きに対処し町民生活の向上を図っていきます。」

議会で発言する佐藤町長

地域経済の活性化と産業振興

「まちづくりの基盤となる基幹産業である農業、観光、商工業の活性化を最重点課題に据え、昨年度より検討を進めている観光振興計画の策定と、現行計画の最終年を迎える農業振興計画の見直しを行い、本町振興の中長期的な将来像を明らかにしていきます。

2年目を迎えた産業連携プロジェクトの推進については、食のフェアやニセコ産米の普及促進事業の定着化を図り、地場産品の消費拡大や地産地消のシステムづくりを推進するほか、講演会の開催や先進地事例の調査研究を行い今後の方向性を見極めていきます。

また、農業は、昨年導入された「水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）」「米対策」への対応に加え、農産物価格の下落など低迷する農家経済の緊急救済対策として、農地小作料補助による農地流動化の促進、完熟堆肥購入費補助の拡大及び原料輸送費の支援、土壌診断・残留農薬対策など、土づくり対策の強化を図り地域循環型クリーン農業の推進と農業経営基盤の安定強化を支援します。併せて、農地・水・環境保全向上対策事業を継続し、地域による共同活動を支援します。

観光面では、今年7月に北海道洞爺湖サミットが開催され、多くの報道関係者などが町内に宿泊するとともに、ニセコ洞爺地域に対し世界的な注目が集まります。この機会を有効に捉え、ニセコ町サミット対策会議を中心に関係者の受け入れ体制整備、観光情報の発信と地域振興、地域の安全確保などの対策を積極的に進めていきます。綺羅街道信号柱やJRニセコ駅の塗装、花の植栽などの修景対策や、外国人観光客の誘致対策の強化、ニセコリゾート観光協会のホームページの英語化支援など、商工会とも連携を深めながら一層の振興を図ります。

また、町内外から好評を得ている道の駅ニセコビュープラザやニセコ駅前温泉綺羅乃湯などの観光施設の適切な運営にも配慮します。」

多くの客でにぎわうニセコビュープラザの農産物直売所

【主な取り組み】
- 観光振興計画の策定、農業振興計画の見直し
- 「産業連携プロジェクト」の積極的な推進
- 農業経営基盤の強化、地域循環型クリーン農業の実践
- 農家経済緊急救済対策（農地流動化促進、完熟堆肥流通対策の拡充など）
- 農地・水・環境保全向上対策
- 北海道洞爺湖サミット関連対策
- 外国人観光客誘致事業
- 商工会及びニセコリゾート観光協会との連携

心がかよう福祉と健康づくりの推進

「少子高齢化の進展、医療費、介護給付費の増大が続くなか、新たに75歳以上の高齢者を対象とした「後期高齢者医療制度」がスタートするなど、保健福祉政策は大きな変革期を迎えており、増加する財源の確保と、時代の変化に対応した福祉施策などの柔軟な見直しが必要となっています。

各種医療制度改革に伴い町の負担が増しさらに厳しい状況にありますが、高齢者や障がい者などへの福祉の充実、子育て支援、健康づくり対策など必要な事業を継続しつつ、町民一人ひとりが生涯健康で充実した生活を送れるよう、関係団体と連携のもと、心がかよう福祉と健康づくりの推進に努めます。本年度は特に、乳幼児医療費の支給対象年齢の拡大や妊婦健康診査の充実など、子育て支援を強化していきます。

また、各種計画に基づき、それぞれの事業を展開・推進していますが、本年度は、平成21年度から3カ年を計画期間とする「第2期障害福祉計画」と「第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。

国民健康保険事業では、被保険者の負担軽減を図るため、昨年度と同様に税率の引下げを実施するほか、本年度からの、医療制度改革に伴い義務化された特定健診・特定保健指導の円滑な実施に努めます。

各地区で開催している健康教室

介護保険事業では、激変緩和措置による保険料の軽減期間を1年間延長して保険料負担の低減を図ります。昨年設置した地域包括支援センターは、高齢者の自立生活を支援する総合相談窓口として、介護予防に重点をおいた地域支援事業を展開し、関係団体と連携のもと、より一層の高齢者支援の充実を図ります。

保健福祉施策を維持して行くうえでの利用者一部負担や所得による制限などが余儀なくされていますが、みなさんのご理解をいただき、だれもが健康で安心して暮らせる、人にやさしいまちづくりを目指します。」

【主な取り組み】
・後期高齢者医療制度への移行
・子育て環境への支援（妊婦健康診査・乳幼児医療の支援拡大）
・第2期障害福祉計画、第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定
・綺羅乃湯入館料や福祉灯油、高齢者除雪など在宅老人支援対策の継続実施
・国保特定健康診査、介護保険地域支援事業の充実
・国民健康保険税率の引下げ、介護保険料激変緩和措置の継続

個性豊かな教育・文化とスポーツの振興

「学校教育の役割は、「生きる力」の基礎・基本を培うことから、家庭や地域との連携が重要であり、学校評議員制度や地域参観日、PTA組織の活性化などにより、学校・家庭・地域との関係づくりを一層充実していきます。2カ年にわたり検討してきた小学校・中学校の二学期制については、本年4月より実施に踏み切ります。心身に障がいをもつ児童生徒の特別支援教育の充実や、学級数の減少が懸念される中学3年生の複数学級の確保など、より一層充実した教育を進めていきます。また、施設の老朽化が著しい学校給食センターの建設に着手し、平成21年8月の供用開始を目指します。

幼児センター発表会の様子

開園2年目を迎えるニセコ町幼児センター「きらっと」は、幼児教育・保育・子育て支援の相互的なサービスの提供を推進し、子どもたちの年齢・発達に応じた生活技術や生活習慣の定着を目指すほか、小学校との連携をさらに深めていきます。

社会教育、スポーツ関係では、「第4期ニセコ町社会教育中期計画」に基づき、振興を図ります。昨年度に開設した放課後子ども教室は、子どもたちの安全・安心な活動拠点として、多くの児童に利用される場となるよう充実に努めます。また、誰もが気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたり健康で生活できるよう関係団体との連携を図りつつ、町主催のスポーツ教室や大会、各種競技の向上を支援する町長杯スポーツ大会を継続実施し、スポーツ活動の充実に努めます。

学習交流センター「あそぶっく」は、読書活動、学習情報の提供、情報交換の場としての利用促進を図り、また本年度からは指定管理者制度を導入し、適切かつ活発な運営管理に努めます。

有島記念館は、有島生誕130年、記念館開館30周年などの節目の年に当たることから、特別企画展を開催し入館者の増加を図るとともに、常設展示替えの調査・研究を行い、魅力ある記念館づくりを目指します。」

【主な取り組み】
・小中学校での特別支援教育の充実
・中学校での2学級体制の確保
・幼児センター運営、子育て支援事業の推進
・学校給食センターの建設
・社会教育、スポーツの振興
・各種施設改修（学校、総合体育館、運動公園など）
・有島記念館特別展「4館共同企画展〝有島3兄弟―それぞれの青春〟」

開館30周年を迎える有島記念館

社会生活基盤の充実、豊かな自然環境の保全

「セコらしい自然景観の保全と乱開発の防止を目的として、平成20年度内をめどに、都市計画法に基づく準都市計画の策定を進めます。同時に、景観法に基づく景観地区の指定を検討し、より明確なルールに基づく土地利用を進め、持続可能なニセコ地域の発展を目指します。

道路整備は、平成14年度から補助を受けて進めてきました、町道愛媛団体通改良舗装事業が今年度完成します。新たに、2カ年計画で町道元町旧国道線の整備に着手し、学校給食センターの建設に伴い町道食肉センター通の一部改良舗装工事を実施します。増加する観光客の交通安全対策が強く望まれている町道ニセコ登山道路は、歩道整備の実施測量設計と用地確定測量を行います。また、昨年度崩壊したサイレン坂の復旧工事を行うほか、町道の維持管理・除排雪についても、住民サービスの低下につながらないよう配慮します。

住環境政策では、平成16年度に策定した公営住宅ストック総合活用計画に基づき本通A団地の全面的改善工事を行うほか、公営住宅に火災警報器の設置を計画的に進めます。その他、手狭となった中央墓地の第二期整備工事や羊蹄じん芥処理場の閉鎖工事を実施します。

上下水道は、各施設の適正な維持管理に努めるとともに、2カ年計画で水道未普及地域である豊里地区の簡易水道の拡張事業と、下水道では、一般住宅の増加している有島地区の区域の拡張を図ります。また、下水道地域外における合併浄化槽の設置者に対する助成を継続して実施するほか、本年度も引き続き、環境に配慮した循環型社会を目指し、ごみの再資源化・減量化や環境基本計画の実践に向けて取り組んでいきます。」

【主な取り組み】
- 準都市計画区域の指定、景観・開発規制対策の強化
- 町道路線の整備（愛媛団体通、元町旧国道線、食肉センター通）
- ニセコ登山道路歩道整備事業実施測量設計及び用地測量
- 中央地区小規模治山事業・サイレン坂の補修
- 本通A団地全面的改善事業
- 中央墓地の拡張、羊蹄じん芥処理場の閉鎖
- 近藤地区簡易水道（豊里地区）、公共下水道（有島地区）拡張工事
- 環境対策の推進、ごみの減量化の促進

行政事務の効率化と健全財政の維持

「引き続き、公共事業の絞り込みや経常的経費の削減をはじめ、定員管理・給与の適正化、事務事業の見直しや民営化、仕事や予算の変化に応じた組織機構の再編、自主財源の確保、収納率の向上など徹底した行財政全般にわたる改革を推し進め、単独でも持続可能な、簡素で効率的な行財政への転換を図ります。

また、関係町村と協力しながら広域連合による事務処理の円滑実施と効率化を引き続き進めます。合併新法に基づく市町村合併の推進に対しては、道州制や支庁制度改革の動向とともに、国における新たな基礎自治体のあり方に関する検討にも留意しながら、関係町村の動向を見極め、さらに連携を強めていきます。

用途を廃止した旧宮田小学校は、町が国の地域再生計画の認定を受けた後、民間事業者に無償で貸与することにより、地場産業の振興や地域活性化を促します。

また、行政事務の効率化では、地籍成果のデジタル化や戸籍総合システムの導入、事務用パソコン機器の更新により、住民情報の適切な管理と事務の効率化に努めます。」

地域振興に活用される旧宮田小学校の校舎

【主な取り組み】
- 行政改革集中プランの推進と持続可能な財政の確立
- 広域行政の推進と市町村合併問題への対応
- 旧宮田小学校施設の民間活用
- 地籍成果のデジタル化
- 戸籍総合システムの導入
- 行政情報機器の更新

「以上、平成20年度の町政執行について基本的な方針を申し上げましたが、財政難をはじめ、地方分権や三位一体改革など、かつてない時代の変化のなかで、各般の課題に対して的確に対処し町政を進めていきます。」

教育行政執行方針

「二セコ町教育委員会では、町民憲章・教育目標の具現化と「町民一人ひとりが地域に住むことを誇りとし、生きがいをもって生活する」ことを基本とし、人と人とのきずなや連帯感に満ちたひとづくりと地域づくりのため、諸般の施策を積極的に推進していきます。」

議会で発言する篠原教育長

就学前教育

「開園2年目を迎える幼児センター「きらっと」は、幼稚園と保育所、子育て支援センターの機能を相互に連携協力し、乳幼児期の特性や発達課題を的確に踏まえ、望ましい生活習慣や態度の育成を目指した教育の充実に加え、親と子の育ちの場としての役割・機能を充実させ、家庭や地域の教育力の補完や再生・向上していく取り組みを支援します。」

義務教育

「子供たちの生活は、学校ばかりでなく家庭や地域社会での生活すべてから成り立っており、それぞれの生活を通じて学び成長します。さらに、豊かな人間として成長するには、生活体験を重視し、知・徳・体のバランスのとれた成長が必要であり、特に道徳教育を重視し、奉仕活動を通して学びの共同体としての適切な教育が行われることが大切です。そこで、子供たち一人ひとりに自ら学ぶ力や自律の精神をはぐくみ、豊かな感性を育てる学校教育の推進に努めます。

また、二学期制については、各小中学校で2カ年に及ぶ検討の結果、本年度から一斉に取り組むこととなりました。長期休業期間の活用などこれまで以上に児童生徒にとってより良い環境の創設に努めます。

二セコ中学校3年生が生徒の減少で1学級となることから、町単独で講師を配置し、2学級を維持します。

この他にも、複式教育や特別支援教育、健康・安全指導教育を推進するとともに、教職員の資質向上、施設・設備の整備を図ります。」

高等学校教育

「二セコ高等学校は、町立高等学校との自覚のもと、地域と密接に連携した教育活動を進めるとともに、農業と観光を融合した産業人を育成する教育内容の充実を図り地域に信頼され貢献する学校づくりを進めます。」

学校給食

「学校給食は、献立を生きた教材として活用し、正しい食事のあり方や好ましい人間関係を体得させるものであり、地場産品の活用に努めるとともに安全で安心できる学校給食を提供します。また、施設の衛生管理や栄養指導に万全を尽くします。なお、改築検討委員会などの意見を踏まえ、基本・実施設計を完了したドライシステムの学校給食センターを二セコ中学校隣接地に建設します。」

社会教育

「主体的にいきいきと自らの生活の向上に努め、ふれあいに満ちた生涯学習をはぐくむ社会教育の推進のため、第4期社会教育中期計画に基づき、社会教育と学校教育、町の各部局、地域が連携し、いつでも学び続ける生涯学習社会の実現を目指し、町民一人ひとりのさまざまな学習への取り組みを支援し、心豊かな人の育成に努めます。

核家族化や少子化の進行が顕著な状況のもと、家庭教育の一層の充実が望まれます。このため、引き続き各小中学校に家庭教育学級を設置し、子どもを健やかにはぐくむために、親が主体的に学び、地域が支える家庭教育を支援します。

この他にも、学習交流センター「あそぶっく」や「放課後子ども教室」、ふるさと講座、「寿大学」や芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動などの充実を目指します。町民大運動会は社会状況の変化により各地区に課題も多いことから、各チームより選出された町民大運動会検討委員会の意見を反映した改善を行い実施します。」

平成20年度の予算や事業の詳細は「もっと知りたいことしの仕事」をご覧ください

毎年5月初旬にお届けしている予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」では、予算の内容をわかりやすく説明しています。

特集2：

小さなまちの将来像を考える

ニセコ町では、平成15年から16年にかけて、近隣の5つの町村で合併協議会を立ち上げて議論した結果、当面は合併しない道を選択しました。しかし、その後、合併や市町村のあり方を巡る情勢に変化が生じています。その変化を受けて、2月25日には合併問題や小さな町の方向性をテーマに第107回まちづくり町民講座が開催されました。

特集2では、この町民講座の講演や対談の内容をお伝えします。

講演「市町村合併問題の今を考える」より

講師 小西 砂千夫氏
（関西学院大学教授・北海道市町村合併推進審議会委員）

講師・小西砂千夫さん

■市町村合併の流れ

平成11年に合併特例法ができたとき、全国の市町村で合併しようという動きはまだ緩やかなものでした。しかし、平成15年冬ころから、国からの交付税が減ったことにより、合併を協議する市町村が急増しました。

国が財政を再建しようとするとき、そのやり方は増税か歳出の圧縮かの二つしかありません。増税は国民の許すところではないので、歳出を圧縮しようということになります。

そこで先の小泉内閣は、歳出を圧縮しようという「小さな政府」路線を進み、今も続いています。そのなかで地方にとって非常に重要な、地方交付税と公共事業の圧縮が始まりました。その結果、財政力の豊かな町と、そうでない町の格差が広がっていきました。財政難を避ける理由で、平成17年3月31日の合併特例法の期限切れを前に、かなりの数の市町村が合併していきました。

■フルセット型かアラカルト型か

合併特例法の期限が切れた後、いわゆる合併新法ができましたが、今、合併問題を考えるに当たって一番大事なこととして、「特例町村制度」の検討が始まっていることがあげられます。

合併とは、役場の機能の強化に他なりません。ここで、役場のあり方として、フルセット型とアラカルト型ということが考えられると思います。あらゆる行政分野を全てカバーしているのがフルセット型とすれば、住民生活に密着したものだけ、あるいは一部の事務しかやらないのがアラカルト型です。どんな規模の町でもフルセット型でやれるかというと、例えば人口10万人の町では700種類の仕事を700人の職員で担い、人口1万人の町では300～400種類の仕事を100人の職員でしているとします。すると、人口1万人の町は10万人の町に比べ、職員一人当たりの仕事量は3倍にも4倍にもなっています。

そこで、フルセット型が難しいようないわゆる小規模自治体（人口の少ない市町村）は、無理して合併をして役場の機能を強化しようとするよりは、むしろ仕事の負担を減らそうという考え方が出てきました。それが特例町村制度です。しかし、この制度が検討されるとすれば、それが地域の実情に合うかどうか、熱心に議論されるべきだと思います。

合併の現状（市町村数）

平成11年3月31日
全国3232・北海道212

↓

平成20年11月1日
全国1785・北海道180
（見込み）

■合併新法の期限後を見据えて

いずれは合併するけれども今はまだ…、という市町村がよく見受けられますが、平成22年3月31日にはもう合併新法の期限が来ます。その先は不透明です。これからも合併しないという町は、特例町村制度の積極的な検討が必要だと思います。物事が動き出してからでは遅いのです。近未来をイメージしながら、先に考えるべきことは考えておくべきでしょう。もうそんなに先の話ではないのです。

対談「ニセコ町をはじめとした小さな自治体の方向性」

小西砂千夫氏
中井　幹晴氏（総務省自治行政局合併推進課理事官）

■合併の効果の検証は

―「合併した町からは、合併して良かった、という声が聞こえてこない」ということを耳にしますが、合併の効果については検証されているのでしょうか。

（中井）

合併効果の検証は非常に難しいと思います。例えば私が以前に出向していたある町では、合併すれば住民負担が軽くなり、行政サービスが充実するといわれていたのに、いざ合併したら、全然良いことが無いという住民の声がたくさんありました。合併後、確かに、施設の使用料が上がったり団体に対する補助金が整理されたりということはありました。しかし、実はその時期は、国からの交付税が減ったために行政改革をせざるを得なかった時期だったのです。これは全国的に、合併してもしていなくても同様のことがあったのですが、それで「合併しても良いことが全然無かった」という感覚になり、住民の声に厳しいものがあったのではないかと私は感じました。

また、合併に際して自分たちが頑張ってやっていこうという人たちは、成功とか失敗とかではなくて、新しく町をつくっていくのだという感覚でやっていました。そういう意識を持ったところと持てなかったところがあり、それも合併効果の検証を難しくしていると思います。

■小さな町のあり方について

―現在、いわゆる小規模自治体のあり方が議論されていますが、役場の業務を窓口などに限定していく特例町村制度の導入について、どう考えられますか。また、ニセコ町は特例町村になるのでしょうか。

（小西）

特例町村になると自治権が無くなるのではないかという懸念があると思います。しかし、自治権を残すために身軽になると解釈することもできるのではないでしょうか。また、小規模かどうかを判断するための人口を何人に設定するかというのは、具体的な法制度の検討に入らない限り確定しません。もっとも、ニセコ町の人口規模は、特例町村になる可能性があると想定しておいた方が後で慌てずに済むと思います。

■今、地方自治は岐路にある

―ニセコ町だけでなく、あらゆる自治体で職員が減っています。しかし、福祉の問題など次々に生じる課題に立ち向かっていくなかで、本当にフルセット型でいけるのか、あるいはアラカルト型でいくのか、今、地方自治のあり方が問われているということですね。

（小西）

地方のあり方を検討するための首相の諮問機関である29次地方制度調査会では、今はまだ別のことを議論していますが、もうそろそろ特例町村制度のほうへ話の軸が移っていくのではないかと思います。それがいよいよ動き出したときに、私たちはもうすでに検討を重ねていて、この枠組みでないと受け入れられないというようなことを言えるように、先に検討しておいたほうが受け身にならないで済むと思います。

（中井）

地方制度調査会での議論はホームページなどで公開されています。併せて、地方分権改革とか道州制とか、地方自治をめぐる制度が相互に関連しながら、同時並行で協議されています。今後もこれらの動向に注意していてください。

町の将来像の検討を

ニセコ町では平成16年に、当面は合併しないという道を選択しています。しかし、そのころとは情勢が変わってきました。平成22年3月末までに合併しなかった小さな町は、その権限や機能を根本から見直そうという議論が徐々に高まってきているのです。それを踏まえて、町の将来像を今から改めて議論していかないと、いざ国の法律が変わったときに反対を唱えても間に合わないこともあり得ます。

町では、合併の是非も含め、合併新法期限後のさらにその先の姿も見据えながら、町の将来像について検討を進めていきます。みなさんもこの機会に、町の自治のかたちを考えてみませんか。

町民講座での対談風景

まちの話題
my town hot news

思い出を胸に学び舎から巣立つ卒業生たち

旅立ちの季節を迎えた3月、町内の各学校では3月1日のニセコ高校を皮切りに卒業式が開催されました。

各学校の式典では、お世話になった先生や両親が見守る厳粛な雰囲気のなか、卒業を迎えたみなさんが将来への希望と決意を語ってくれました。

式典後には慣れ親しんだ教室で最後のホームルームが開かれ、担任の先生から卒業生に心のこもった一言が贈られました。また、卒業生からはお世話になったお礼にと寄せ書きを贈る光景もありました。

帰りの玄関前で、これまで過ごした学び舎での時間を振り返り、名残惜しんでいた卒業生のみなさん。その思い出と誇りを胸に、将来に向けて力強く歩んでくれることでしょう。

中学校では、卒業証書の授与とともに卒業生一人ひとりの子どものころの写真と、学校生活での思い出の写真が壇上のスクリーンに映し出されました

ニセコ小学校では、卒業証書を受け取る卒業生のみなさんが笑顔で校長先生と握手する姿が印象的でした

近藤小学校を旅立つ6人の卒業生は、父兄や後輩たちの見守るなか紙ふぶきで見送られました

映画鑑賞でゆとりのひととき
……2月22日

寿大学学習会が町民センターで開催されました。今回の学習会では、「ゆとりをもって」をテーマに映画鑑賞が行われ、短編と長編の2本の映画が上演されました。集まった90人のみなさんは、コミカルで人情味あふれる内容に、時には息を詰め、時には大笑いをして映画を楽しんでいました。

会場のみなさんは、スクリーンに繰り広げられる名演技に魅せられていました

今回の受賞に驚いたと話す三島君は、これまでも町の絵画展で町長賞を受賞しています

最優秀賞に輝いた三島君の作品
車の迫力や生活感など見る人にさまざまな印象を与える素晴らしい作品です

ふるさとの風景を描いた作品 全道最優秀賞受賞 ……2月19日

このたび、近藤小学校4年生の三島峻（たかし）君が「とんぼの未来・北の里づくり」写真・絵画コンテスト小学校中学年絵画の部で最優秀賞を受賞しました。

今回最優秀賞に輝いた三島君の作品は、近所で農作業に使うショベルカーを大きく描いた作品です。審査員からは、「画面いっぱいに描かれたショベルカーから力強さが、その周りの草や木からは作者や家族の生活の香りが感じられる」と高い評価を受け、全道から寄せられた122点の作品の中から見事選ばれました。

三島君、最優秀賞受賞おめでとうございます。

寒さなんか元気で吹き飛ばせ！幼児センター雪中運動会 …2月22日

昨年4月にオープンした幼児センターで、このほど第1回目となる雪中運動会が開催されました。

当日は、小雪がちらつく少し肌寒い天気でしたが、この日を待ち望んでいた107人の園児たちは、寒さなんかお構いなし。大きな雪山が作られたセンター前の会場を、所せましと元気いっぱい走り回りました。

また、会場には子どもたちを応援しようとたくさんのお父さんお母さんが集まり、カメラなどを構えながら大きな声援を送っていました。

昨年まで幼稚園と保育所それぞれで開催されていたこの冬の運動会。今回から両施設が一つになり、お友達が増えたことで楽しさも応援する声もさらに大きくなったようです。

2人で前後につながった輪に入って走る競技「はしれ！きしゃぽっぽ」ですが、木村洋太君（左）と大場聖也君（右）は仲良く横並びで走っていました

最後のリレーでは、くま組のみなさんがバトン代わりの大きなタイヤチューブを抱えて全力疾走しました

運動会終了後の甘酒にご満悦の平畑康生君（右）とゆっくり味わう三宅ほのかちゃん（左）

講師の庄司さんの丁寧な指導と子どもたちの発想力で、素晴らしい作品が出来上がりました

日本文化の楽しさを初体験 生け花体験教室開催…2月28日

このたび、文化協会主催の生け花体験教室が町民センターで開催されました。今回の教室には、町内の小学4年生から6年生まで8人のみなさんが参加し、余市町で生け花教室を開いている先生の指導のもと、本格的な生け花を学びました。

赤や青、ピンク色などの花の配置から、一本一本の枝選びに至るまで、慎重に考えながら作品を作るみなさんの目は真剣そのもの。初めて生け花を体験したみなさんは、思い描いたイメージどおりの作品を仕上げていく生け花の楽しさを感じながら、出来上がった作品の仕上がりに満足していました。

町を火災から守る大切な消防訓練 ……3月12日

このたび、消防団のみなさんが羊蹄団地付近で消防訓練を行いました。この消防訓練は、火災が起きたときに一連の消火作業の動作を素早く正確にできるよう、毎年消防車を実際に出動させて行われています。

消防団のみなさんは、まだ肌寒い空気の中、冷たい水しぶきを浴びながら消火訓練にあたりました。

訓練に参加したみなさんは、近所の人や学校帰りの子どもたちが見守るなか、きびきびとした行動で訓練をしていました

ニセコエリアの更なる魅力発信と安全の両立を目指して……2月29日

ニセコ東山スキー場では、施設を守るため、滑走禁止区域で人工的な小さい雪崩を起こし、大きな被害を防ぐアバランチコントロール（雪崩制御）を行っています。このたび、この作業を公開し、みなさんから意見を聞く雪崩事故防止対策見学会が開催されました。

見学会では、スキーパトロール隊員がスキーを使って雪を落とす様子や、実際に火薬を使った作業も行われました。これまでもニセコエリアでは、ニセコローカルルールを作るなど総合的な安全利用対策を進めてきました。このような地道な取り組みが9年もの間、雪崩の死亡事故を防いでいます。

見学会では、スキーパトロール隊（写真手前の2人）がスキーで2m以上の雪を踏んで落とす作業などを見学しました

見学後のミーティングでは、これまでの取り組みのほか、将来この沢を安全に管理しながら開放する可能性について話し合いました

みんなのページ

町民みなさんの参加ページです
お便りをお待ちしてます

企画課広報広聴係まで
☎44-2121 FAX44-3500
e-mail▶koho@town.niseko.hokkaido.jp

our voice 私の意見

みなさんから寄せられるご意見や、お便りをご紹介します。

今月は、子どもの遊び場について寄せられたお問い合わせを紹介します

子どもの遊び場をつくってほしい

子どもの遊び場をつくってほしいです

お答えします

現在、子どもたちが遊べる公園については、町民センターの南側に「ちびっこ広場」があり、遊具や砂場、噴水などを整備しています。遊具などは使い古されてはいますが、常に点検し、安全に使えるようにしています。

ほかに新しく公園をつくったり、あるいは、町民センターなどの屋内に、建物を改造して冬でも遊べるようなコーナーをつくったりするには、たくさんお金がかかります。町では、どちらの場合も、今すぐにつくることは難しい状況です。しかし、将来、新たに遊び場をつくることになったときには、ぜひご意見などをお寄せください。

なお、公民館では「放課後子ども教室」を行っています。ここでは小学生を対象に自由学習やゲーム、体験交流などさまざまな活動をして、放課後の子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう工夫しています。ぜひ参加してください。

また、学習交流センター「あそぶっく」にはたくさんの本があり、その場で読んだり、借りたりすることができます。読みたい本が探せないときにはスタッフが親切にお手伝いしますので、どうぞご利用ください。

（企画課長　加藤　紀孝）

■問合せ／企画課広報広聴係
☎44-2121
ファックス44-3500

ニセコ高校 農業クラブ コーナー

新年度に向けて

ニセコ高等学校農業クラブ会長　浅古　智美

昨年11月に役員改選が行われ新役員が選出されました。その後、旧役員の先輩たちにアドバイスをいただきながら新年度に向けて取り組んできました。

3月下旬には新役員による校内リーダー研修会を実施し、今年度の重点目標、活動テーマや方針を決め、より一層、ニセコ高校の農業クラブ活動が活発になるよう話し合いました。

4月には本格的な活動として対面式・オリエンテーションがあり、新入生に農業クラブを理解してもらうため企画しています。また、下旬には年度始め総会が予定されており、現在、各委員会、部活動、プロジェクト活動班と連携しながら、総会に向けて準備をしています。

新年度になり、新しい役員とクラブ員での活動がスタートします。今後も私たちの活動に対して町民のみなさんのご助言とご協力をよろしくお願いします。

会長以下７名の新役員

グリーンアースニセコ

環境にやさしい活動がしたい！

ゴミとサミット どっちが大変

高橋　晴子

あと数カ月したらサミットが始まります。良いことと思っていますが、少し不安もあります。たとえば、ゴミの問題です。環境に良いことを行う傍らで、多人数のお客さんが出入りするのですから、町のなかはともかく、ちょっと町からはずれたら「ポイ捨て」が目立つのではないでしょうか。私が今でも「なぜ？」と思うのは、わざわざ袋に入れてあるゴミを、車のなかから道端にポーンと投げ捨てていく人がいることです。そのまま自分の家に持ち帰って、新たにゴミとして出して欲しいですね。

我が家も車で出かけるときは、空き缶、空き瓶、燃えるゴミと分けて袋に入れておきます。家に帰ってきたときには、缶はかごのなかに、瓶は袋にと、ちょっと手間が掛かるけど、少しは良いことをしているかなと自分なりに思います。大人のマナーが悪ければ子どものマナーも変わらない。もっと自分たちのまちに誇りを持って、きれいにしたいです。

●グリーンアースでは仲間を募集しています。
この会の活動に関心のある人は、
宮田文子さん（☎44-2022）までご連絡ください

culture Land カルチャーランド

書友会のみなさんの作品（書）

池田ひろみさんの作品（トールペイント）

ニセコ短歌会

あそぶっくの夕べの窓外（そと）は雪にして童話読む子の瞳かがやく　岩田　稔雄

車窓より土産買ふ店探しをれば見渡す限り雪真白なり　折内　和子

シクラメン紅いつぼみが顔出して寒さにめげず癒されてをり　林　ミヨ

ニセコ俳句会

地吹雪の音に目覚めの早かりし　巾下　正子

朝日うけ煌き放つ樹氷花　斉藤うめ子

雪原に枝の弾ける建国日　千葉　繁男

あそぶっくらぶ だより No.61

あそぶっくらぶ「羊毛でつくろう」
かわいいネズミの人形が出来上がりました

おすすめ本紹介

+6℃　地球温暖化最悪のシナリオ　マーク・ライナス　ランダムハウス講談社

地球の平均気温が1℃上昇するごとに何が起こるのかを、多くの科学者の研究を元にまとめています。「環境・気候変動」について、洞爺湖サミットを前に考えてみませんか？

他に「ストップ·ザ·地球温暖化」、「ハチドリのひとしずく」もお奨めします。

だいすきがいっぱい　ジリアン・シールズ　主婦の友社

触られるのが大嫌いで、愛すること愛されることを知らないぬいぐるみのクマ。でも一人の少女と出会い、初めて「だいすき」の意味を知ることになります。本当に大切なものは何かを教えてくれるお話です。

おいしいスイーツの事典　成美堂出版編集部　成美堂出版

ひと口食べただけで、人々を笑顔にしてくれるスイーツ。定番と個性豊かな世界のお菓子約300種が収録されています。名前の由来や興味深いエピソード、基本のレシピも紹介。スイーツのことがよくわかる事典です。

新着本紹介

実　用　書	読　み　物	児　童　書　・　絵　本
木村式ラクラク家庭菜園	乳と卵（川上未映子）	育てて、しらべる　イモムシ
ザ・ベストハウス図鑑　2	天地人　上下　（火坂雅志）	医学のたまご
幸せになる手相大事典	姫の告白（姫井由美子）	落語絵本　ときそば

※新着本はこのほかにもたくさんあります。新着本のリストはあそぶっくにありますので、どうぞご利用ください

ニセコ中学校
「本のお楽しみ会」

小学3年生読み聞かせの様子
みなさんとても上手でした

あそぶっくらぶ
「ゆび編みでマフラーづくり」

あそぶっくが生まれ変わります！

子どもたちに本を読んであげよう！　そんな素朴な思いが、いつの間にか図書施設「ニセコ町学習交流センター　あそぶっく」を運営するという、思いもかけない難事業を手がけることになって、はや5年が経ちました。

そして今年度、あそぶっくの会は法人格を持った「NPO法人あそぶっくの会」として生まれ変わり、新しくスタートすることとなりました。

あそぶっくは本を貸し出すだけでなく、子どもたちに良い本を紹介し、一冊でも多く手にとってもらうよう努力するのはもちろんのこと、さまざまな情報を得る場所でもあり、暮らしや仕事にも役に立つ場所であることを広く知ってもらい「町民の暮らしの中にはあそぶっくがある」といわれるようになるのが大きな目標です。

町民の手によって運営され、赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで町民のみなさんのための施設です。どうか、今まで以上に可愛がっていただきますようお願いします。

NPO法人あそぶっくの会理事長　久保朋子

ニセコ町学習交流センター「あそぶっく」

●**開館時間**／午前10時～午後6時
●**休館日**／月曜日　祝日（月曜日と重なったときは、次の火曜日も）
第4金曜日（図書整理日のため）　年末年始

〒048-1502
虻田郡ニセコ町字本通105番地
☎0136-43-2155　FAX **0136-43-2156**
ホームページアドレス　http://www13.ocn.ne.jp/~asobook/

展　示

●趣味の展示

4/16～5/9　ステンドグラス
（アトリエU　上田正廣さん）

あそぶっくリニューアルオープンにあわせて、正面玄関と町民サロンにヨーロッパ教会のステンドグラス（模写）とオリジナル作品を飾ります。

期間中は10点以上の作品が展示されます。ぜひご覧ください

お知らせ

臨時休館日のお知らせ

あそぶっくでは、現在手作業で行っている貸出・返却を、バーコードで読み取るシステムに変更します。その変更作業ため、4月7日㈪から15日㈬まで臨時でお休みします。

新しいシステムでは、本を借りるときに利用者カードが必要になります。現在登録している人も、再登録が必要ですので手続きをお願いします。

ニセコ町あそぶっく図書カード

このコーナーでは
毎月子育てに関する
さまざまな**活動**や**情報**を紹介します

にこにこ広場

子育てTopics

うれしいひな祭り

おひさま
3月3日

ひな祭りの日に、みんなで折り紙を使って簡単なおひな様を作りました。

おひな様に桃の花をつけてかわいらしくしたり、子どものおひな様も作って「家族のおひな様」にしたり、アイディアを凝らして楽しく作りましたよ。おひな様のように健やかに育ってくださいね。

おひさまでは、季節の行事も行っています。ぜひ参加してください。

おひな様が来るともう春だね。みんなでパチリ

たくさんのお友だちが来てくれました

おひさま

「おひさま」がオープンして1年を迎えました。

この1年間、たくさんのお母さん・お父さんと子どもたちが遊びに来てくれました。初めておひさまに来たころは小さかった子どもたちも、今では歩けるようになったり、お友達と楽しく遊べるようになったり、ずいぶん大きくなりました。

4月からもぜひ遊びに来てくださいね。

みんなで遊ぶと楽しいね（自由開放手遊びの様子）

幼保総合化情報

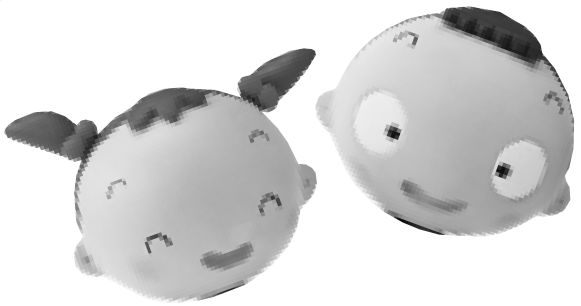
リズム参観

3月11日に3・4・5歳児クラスのリズム参観を行いました。子どもたちは元気にホールいっぱいを駆け回ったり、歌を披露したりしました。

リズム運動は普段の保育の中で行っている活動のひとつで、ピアノの伴奏に合わせて跳んだり走ったり動物になったりして体を動かします。ピアノをしっかり聴いて、どんな動きなのか、テンポはどうかを自分で判断して動かなければなりません。体をのびのびと動かすことと足の親指を使い「蹴る」という動作が基本となるので、裸足薄着で行っています。リズムに合わせて楽しく体を動かしながら、発達を促しています。

●問合せ／幼児センターきらっと
☎44 - 2700　**担当**＝浦野・木村

4拍子のリズムに合わせて竹を踏まないように…（リズム参観）



●このページに関する問合せ
子育て支援センター「おひさま」▶担当：四方（しかた）または浦野
☎44-2739 FAX 44-2725
●子育て支援ホームページ
http://www.town.niseko.hokkaido.jp/kosodate/

子育て支援事業のお知らせ

お母さん、お父さんの子育てを応援します

「おひさま」は、子どもたちがのびのび成長できるよう、お母さん、お父さんが楽しく子育てできるよう、子育てを応援する取り組みを行っています。

利用者のみなさんの声

- 親子ともに友達の輪が広がりました
- 雨や雪の日でも安心して遊べます
- 午前中体を動かすと、午後からぐっすり昼寝ができます
- 大きくなったら入園する幼児センターの様子もよくわかります

おひさま開放

月曜日から金曜日の午前中、親子で自由に遊ぶことができます。手遊びなど、みんなで遊ぶ時間もあります。

子育て講座

子育てを楽しんだり、リフレッシュしたりする講座を行います。

子育て相談

育児で困っていること、わからないことなど、お気軽に相談ください。

一時預かり保育

保護者が緊急の用事や病気の際、子どもを一時的にお預かりします。半日あたり1000円で1歳3カ月以上の子どもが対象です。

情報提供・交流

登録者には情報紙「おひさまだより」を毎月配布します。保護者同士の情報交換掲示板「おひさまボード」も設置しています。「不用になった子ども用品を譲りたい」「譲って欲しい」など、自由にご利用ください。

申込み・問合せ先

●利用方法／利用を希望する人は、初回利用時に利用登録が必要です。登録用紙に必要事項を記入して、提出してください。
●問合せ先／地域子育て支援センター「おひさま」
☎44・2739
担当＝四方・浦野

4月の子育てカレンダー

17日(木)13時30分～
乳幼児健診(町民センター)

23日(水)12時45分～
歯科検診・フッソ塗布(町民センター)

25日(金)10時～
親子スポーツ教室説明会（体育館）

毎週(月)～(金)9時30分～12時
おひさま自由開放（おひさま）

●4月1日(火)～4日(金)　おひさま開放休み
●予防接種→P1参照

くらしの情報

Information on a Niseko Life

お知らせ

5月から厳格化されます
戸籍窓口手続きの変更

戸籍法が改正され、5月1日から戸籍窓口での手続きが変わります。

戸籍には大切な個人情報が記載されています。そのため、結婚などの届け出や戸籍謄抄本の取得には、窓口に来た人の本人確認を行う必要があります。

今回の改正により、結婚や離婚、養子縁組や養子離縁、認知などの届け出をするときに、必ず本人確認をすることが法律で定められました。また、戸籍謄抄本を取るときの条件や手続きが厳しくなります。

本人確認は、運転免許証のほか写真つきの住民基本台帳カードなど本人の顔がわかる証明書で行うので、婚姻などの届け出や戸籍謄抄本を請求するときは、忘れずにお持ちください。

また、他人の戸籍謄抄本を取るには、正当な理由がある場合や戸籍に記載されている人からの委任状がある場合に限られますのでご注意ください。

■**問合せ**／札幌法務局倶知安支局 ☎22-0232
または町民生活課住民係 ☎44-2121
担当＝佐藤・工藤

時間の変更にご注意を
ふれあいシャトル運行時間変更

4月1日㈫から、ふれあいシャトルの運行時間が変更しています。ふれあいシャトルを利用する人は、お間違えのないようご注意ください。

詳しい運行時間は、3月28日に新聞折込で配布した運行時間表をご覧になるか、ニセコバスにお問い合わせください。

■**問合せ**／ニセコバス ☎44-2001

手続きをお忘れなく
国民健康保険被保険者証の更新

みなさんが現在使用している国民健康保険被保険者証は、4月30日までが有効期限となっています。

そこで、被保険者証の更新を表のとおり行いますので、国民健康保険被保険者証をお持ちの人は、印鑑と被保険者証を持参のうえ、会場へお越しください。

■**日時**／4月24日㈬
■**場所**／公民館
■**問合せ**／保健福祉課保険医療係 ☎44-2121
担当＝桜井・福田

■国民健康保険被保険者証の更新時間表

時　間	対　象　地　域
9:30～12:00	しらかば、有島団地、中央1～7町内、望羊団地、さくら団地、里見地区親交会、ふよう会、元町親交会、近藤親交会、その他の地域
13:00～15:30	本通1～11町内、本通団地、富士見、富士見団地、新有島団地、羊蹄団地、富川、宮田、小花井、黒川、福井地区親交会、みずほ、西富、昆布、桂
15:30～16:30	コーポ有島、有島、有島1～3、羊蹄、羊蹄1、温泉、モイワ、ペンション村、東山ペンション村、ニセコ親交会、曽我親交会、北栄2、アンヌプリ、ローヤル、東山の丘

年金だより

すべてのみなさんに ねんきん特別便が送付されます

昨年12月から、社会保険業務センターでは年金記録が記載された「ねんきん特別便」を送付しています。このねんきん特別便は、年金を受給している人には4～5月に、現在保険料を納めている人には6～10月までに順次送付されます。

ねんきん特別便には、勤務先・共済組合などの名称、加入・脱退年月日、加入月数が記載されていますので、記録漏れや履歴の確認をお願いします。

もし年金記録の訂正などがある場合は、年金を受給している人は送られた書類と「年金証書」を持って社会保険事務所で訂正の手続きをしてください。また、現在保険料を納めている人は「年金加入記録照会票」に訂正事項を記入し、同封の返信用封筒で返送してください。送られた照会票は社会保険庁で再調査し、その結果を改めてお知らせします。

◎ねんきん特別便専用ダイヤル　0570-058-555

■問合せ／町民生活課住民係

☎44 - 2121　**担当**＝佐藤・工藤

ま ち の 事 件 簿

二セコ町防犯協会

倶知安警察署　☎22-0110

盗難事件

スキー用品の盗難

町内のスキー場や宿泊施設のスキー置き場などで、スキーやスノーボード、ゴーグルなどが盗まれる事件が、2月中に3件発生しました。

交通事故

前方不注意による追突

2月3日に町内の道道で、前方不注意の車が信号待ちをしている車の発見に遅れ追突する事故が発生しました。

道路わきの雪に乗り上げ横転

2月24日に町内の道道で、カーブを走っていた車が道路わきの雪に乗り上げて横転する単独事故が発生しました。

まちづくりに活用を

まちづくりサポート事業

町では、町民のみなさんに、主体的なまちづくり活動を進めてもらうため、シンポジウムや講演会、地域を元気にするイベントなど公共性のある事業や、自治会などの範囲で行う地域の美化活動、植栽などのまちづくり活動を支援します。

■対象者／町内にお住まいのみなさんで組織し、継続して活動している団体

■補助対象経費／講師の謝礼・旅費、印刷費、消耗品費、材料費、使用料など

■補助金額／補助対象経費の3分の2以内で20万円まで

■補助対象期間／1年間

■応募期限／5月30日㈮

■応募方法／所定の様式により申請書の提出が必要です。詳しくはお問い合わせください

■支援の決定／まちづくり委員会の意見を聞き町長が決定します

■問合せ／企画課経営企画係　☎44 - 2121　**担当**＝山本・斉藤

空気が乾燥しています

森林火災に注意

毎年4月から6月は、森林火災が多発する時期です。タバコや焚き火の不始末には、十分注意しましょう。

■問合せ／農政課畜産林務係　☎44 - 2121　**担当**＝谷井・花輪

町営住宅に 空き室があります 情報

平成20年3月20日現在

団地名	形式	構　造	家　賃	戸数	駐車場
のぞみ団地3号棟	2LDK世帯用	2階建 平成10年建設	48,000円	1戸	駐車場あり (月額3,000円)

●受付期間／4月1日㈫～4月9日㈬

●入居資格・申込方法／詳しくはお問い合わせください

教えてください 町内の空き家・空き室 情報

二セコ町住宅マスタープラン

町では、住宅相談に対応するため、町内の空き家・空き室の情報を集めています

■住宅情報に関する問合せ／建設課住宅管理係

☎44-2121　**担当**＝大久保・三橋

お知らせ

農地賃借の目安です

標準小作料の改訂

平成20年～22年までのニセコ町標準小作料が決まりました。

農地を賃借する場合には、標準額を目安に料金を設定してください。なお、土地の条件などで標準額を下回る場合は、20％を限度として減額できます。

■問合せ／農業委員会農地係 ☎44-2121

担当＝福村・林

■農地の区分

田専地帯	小花井、西富、昆布、みずほ
田畑地帯	元町親交会、有島、有島1、有島3、近藤親交会、里見親交会、富川、宮田、黒川、福井親交会、桂
畑専地帯	有島2、ニセコ親交会、曽我親交会

■ニセコ町標準小作料（平成20年～22年）

農地の区分		田の部								
		田専地帯			田畑地帯			畑専地帯		
（10aあたり）		上	中	下	上	中	下	上	中	下
小作料の標準額		15,000円	13,000円	10,000円	14,000円	11,000円	8,000円	12,000円	7,500円	4,500円
平年収量		510kg	470kg	430kg	500kg	460kg	420kg	470kg	440kg	400kg
農地の区分		畑の部								
		畑専地帯			田畑地帯			田専地帯		
（10aあたり）		上	中	下	上	中	下	上	中	下
小作料の標準額		8,000円	5,000円	3,000円	6,000円	4,500円	3,000円	4,500円	3,000円	2,500円
平年収量	バレイショ	3,400kg	2,900kg	2,200kg	3,200kg	2,800kg	2,400kg	3,000kg	2,800kg	2,500kg
	てん菜	4,900kg	4,600kg	4,300kg	4,900kg	4,600kg	4,300kg	4,700kg	4,400kg	4,100kg
	小豆	250kg	240kg	230kg	270kg	240kg	220kg	250kg	230kg	190kg

閉庁時間が変わりました

役場業務終了時間の変更

4月1日から役場の業務終了時間が、これまでの午後5時10分から午後5時15分に変更になりました。

なお、業務開始時間は、これまでどおり午前8時40分です。

■問合せ／総務課総務係 ☎44-2121

担当＝馬渕・高瀬

地震に備えたまちづくり

ニセコ町耐震化計画の制定

町では、地震により被害を受ける範囲を想定し、住宅の耐震化を図ることで地震に対して安心・安全なまちづくりを進める計画「ニセコ町耐震改修促進計画」を定めました。

この計画の詳しい内容は、今月の行政推進員文書で配布しているパンフレットで紹介しています。このパンフレットを参考にして、地震への備えを整えましょう。

■問合せ／建設課建築係 ☎44-2121

担当＝黒瀧・三橋

気軽にご利用ください

総合体育館からのお知らせ

体育館利用時間の変更

総合体育館は、4月から夏季の利用時間となり、午前9時から午後10時まで利用できます。

なお、この夏季時間は、10月31日までです。

体育館の臨時休館日

総合体育館は、アリーナ・ロビーのワックスがけのため臨時休館します。

■休館日／4月6日㈰

◎問合せ／町民学習課（総合体育館内） ☎44-2034

担当＝佐野

もしものときの相談窓口

小児救急電話相談時間の拡大

北海道では、子どもが夜間に急な病気やけがをしたときに、専任の看護師や医師が対処方法などをアドバイスする小児救急電話相談を行っています。

4月5日からは、平日だけでなく土曜日も相談に対応しますので、気軽にご利用ください。

■相談受付日時／午後7時～午後11時

※日曜日を除く

■相談電話番号／☎011-232-1599

■問合せ／北海道保健福祉事務所保健福祉企画課 ☎23-1918

来年1月に変更されます

株券電子化手続きのお知らせ

来年1月から上場企業の株券は電子化され、金融機関の口座で管理されます。

この変更に伴い、みなさんの手元にある株券が本人名義になっていない場合、株主の権利を失う恐れがあります。

自宅や貸金庫などで長期間保管している株券が自分の名義になっていないときは、早めに名義書換や住所変更の手続きを済ませましょう。

■問合せ／日本証券業協会証券決済制度改革推進センター ☎03-3667-4500

川埜満寿夫豪州レポート

南（オーストラリア）の大地から 北（ニセコ）の大地へ

ニュージーランドの先住民マオリ ～Original inhabitant in New Zealand～

Kia Ora（キアオラ：マオリ語でこんにちは）

私の研修先では、この4月にニュージーランドのロトルア市で、国際交流をテーマとした会議を開催します。私がその会議の担当ということもあり、これまで打合せなどで何度かニュージーランドを訪問しました。今回は、そのニュージーランドの先住民マオリについて話をします。

マオリの歴史は紀元前700年ごろまでさかのぼり、ポリネシア系移民とされています。特に会議を開催するロトルア周辺はマオリの人口が多く、私が会議の準備を進めるなかで、その文化にも触れることができました。そこでの印象は、これまでの私の「先住民」の認識とは異なり、大きな衝撃でした。なぜなら、これまで見聞きしてきたオーストラリアにおけるアボリジニ、更には日本におけるアイヌとあまりにも対照的だったからです。マオリは、社会の中で当り前に対等・平等であり、その文化も保護されているのではなく継承されている印象です。政府機関のホームページや町のなかにあるATMも当然マオリ語対応です。マオリ語テレビも放送されています。そこには「少数派であり、保護される特別な存在である」という雰囲気は、みじんも感じられません。マオリの血統の有無にかかわらず、人々がその歴史・文化に誇りを持っているという国全体に流れる雰囲気が容易に実感できるのです。

マオリに触れ、「キアオラ」のように当り前に先住民の言葉であいさつが交わされる社会が、多文化共生社会の一つの見本に思えました。

2カ月に1回、川埜満寿夫の研修レポートをお伝えします
（川埜主事は、平成18年4月から東京に1年間、その後オーストラリアのシドニーに2年間の研修に派遣されています）

マオリの歌と踊りのショーや「ハンギ」と呼ばれるマオリ料理は、ニュージーランドの重要な観光資源の一つにもなっています

募集

投票所の見直しを進めています
投票所統合に関する意見募集

ニセコ町選挙管理委員会では、利便性の向上と投票事務経費節減のため曽我地区の第4投票所とニセコ地区の第5投票所の統合を検討しています。

新しい投票所は、昨年度建設した曽我活性化センターを予定しています。

この統合案について、町民のみなさんの意見を募集していますので、意見のある人は選挙管理委員会までお寄せください。

■募集期限／4月21日(月)
■問合せ／ニセコ町選挙管理委員会(役場総務課内)
☎44-2121
担当＝馬渕・高瀬

一緒に学びませんか
寿大学受講生の募集

教育委員会では、豊かな老後の暮らしを創造する寿大学の受講生を募集します。

■対象／おおむね65歳以上の人
■内容／月1回の講演会や交流会、研修旅行など
■学費／無料
■申込期限／4月15日(火)
■申込み・問合せ／教育委員会町民学習課
☎44-2034
担当＝阿部

留学生を受け入れませんか
ホストファミリーの募集

(財)北海道国際交流センターでは、地域住民のみなさんや学校の児童生徒との交流を通して国際理解を深めてもらうため、日本各地の大学や研究所で学んでいる在日留学生を道内に招き一般家庭でホームステイをする交流事業を行っています。センターでは、この交流事業で留学生を受け入れる家庭を募集しています。

詳しいことはお問い合わせください。

■受入期間／8月19日(火)～8月30日(土)
■申込期限／4月21日(月)
■問合せ／企画課経営企画係
☎44-2121
担当＝山本・斉藤

お知らせ

これからもよろしく
町職員の人事異動

※（ ）内は前担当
■3月1日付
◎**町長部局**
【総務課】総務課付主任 亀山友紀（町民生活課住民係主任）
【建設課】土木計画係主任 中村正人（町民学習課町民学習係主任）

募集

まちづくりのルールを見直そう
まちづくり基本条例検討委員募集

町では、住民自治のまちづくりを進めるため、そのルールを「ニセコ町まちづくり基本条例」に定めています。

この条例では、条例に盛り込まれた制度などの風化を防ぐため、その内容を4年に1度見直すことが明記されています。

そこで、この条例見直しへの意見を広く聞くため、町民のみなさんから検討委員を募集します。ぜひご応募ください。

■**応募条件**／町内在住の人
■**募集人数**／3人
■**募集期限**／4月25日㈮
■**問合せ**／企画課経営企画係　☎44-2121

担当＝山本・加藤

ご応募ください
税務職員募集のお知らせ

人事院・国税庁では、平成20年度国税専門官採用試験の受験者を募集しています。受験資格や応募方法など詳しいことは、国税庁のホームページをご覧になるか、直接お問い合わせください。

■**受付期間**／4月1日㈫～4月14日㈪
■**試験日**／(1次)6月15日㈰(2次)7月28日㈪～31日㈭のうち指定する1日
■**問合せ**／札幌国税局人事第2課　人事専門官　☎011-231-5011または倶知安税務署総務課総務係　☎22-1192

国税庁ホームページ／Ⅼttp://www.nta.go.jp

国の安全を守る仕事です
自衛隊幹部候補生募集

自衛隊では、将来陸・海・空自衛隊の指揮官などを目指す幹部候補生を募集しています。

採用区分や申込方法などは職種によって異なります。詳しいことはお問い合わせください。

■**受験資格**／日本国籍を有する、22歳以上26歳未満の人
■**申込期限**／5月12日㈪
■**試験日**／5月17日㈯・18日㈰
■**問合せ**／自衛隊倶知安地域事務所　☎23-3540

または

募集相談員　山上廣さん　☎58-2570

労働者の生命と健康を守る仕事
労働基準監督官採用試験開催

労働基準監督官は、工場や事業所などに立ち入り、労働条件の確保・改善をする仕事です。

詳しいことはお問い合わせください。

■**試験日**／(1次)6月15日㈰(2次)7月29日㈫・30日㈬のどちらか1日
■**受付期間**／4月1日㈫～4月14日㈪
■**申込み・問合せ**／小樽労働基準監督署倶知安支署第一課監督係　☎22-0206

相談

初回相談料は無料です
しりべし弁護士相談センター

気軽に法律相談をすることができます。相談を希望する人は、事前に電話でご予約ください。

■**4月の相談日程**／2日㈬・9日㈬・16日㈬・23日㈬・30日㈬
■**相談時間**／30分程度
■**場所**／岩内町高台84-3
■**相談料**／初回のみ無料
■**申込み・問合せ**／しりべし弁護士相談センター　☎0135-62-8373

情報宅配便をご利用ください

町では、地域の情報やお知らせを電子メールで携帯電話や自宅のパソコンに伝える「ニセコ町情報宅配便」を実施しています。ぜひご利用ください。

受信には以下のアドレスから事前登録が必要です。

○パソコンの場合

http://www.town.niseko.hokkaido.jp/takuhaibin/

○携帯電話の場合

http://www.town.niseko.hokkaido.jp/mob/takuhaibin/takuhaibin-m.cfm

※ドメイン拒否の設定をしているときはメール受信許可に設定してください

心の贈り物 善意に感謝します

ニセコ町受付分

《蘭越町》南しりべし森林組合　様
（森林づくりの学習や植栽活動の経費として）

ニセコ町社会福祉協議会受付分

《黒川》佐藤　清美　様
（夫が生前お世話になったお礼として）

こみゅにてぃ～

4月生まれ 1歳の写真

サイモン　徹弥（てつや）くん
（6日）温泉
（ジョンさん＝敦子さん）
「健康で優しい男の子になってね」

松岡　陽奈（ひな）ちゃん
（12日）元町親交会
（智則さん＝稔子さん）
「優しくのびのびと育ってください」

村田　慈生（じょー）くん
（20日）東山ペンション
（恵偉太さん＝弥恵さん）
「北海道の子らしく元気にのびのび育ってね」

三橋　明奈（あきな）ちゃん
（12日）本通7
（公一さん＝早苗さん）
「明るく元気な子に育ってね」

大野麦太郎（むぎたろう）くん
（16日）元町親交会
（智美さん＝理恵さん）
「目指せニセコ町長！」

佐野玖伶杏（くれあ）ちゃん
（26日）羊蹄団地
（世史夫さん＝沙織さん）
「お友達をたくさんつくって素敵な女性になってね」

秋元蒼一朗（そういちろう）くん
（26日）有島
（哲也さん＝晶子さん）
「Love & Peace」「ありがとう」

こんにちは赤ちゃん

本通10　★2月16日生
岩澤　凌永（りょうえい）くん
（幸一さん＝麻予さん）

福井地区親交会　★2月16日生
矢田　菜菜（かんな）ちゃん
（英和さん＝亜紀さん）

本通団地　★2月24日生
佐藤　葉月（はづき）ちゃん
（喬さん＝和枝さん）

元町親交会　★2月20日生
山崎　白（はく）くん
（智仁さん＝奈緒子さん）

ごめいふくをおいのりします

昆布（満88歳）　大槻　源次さん　2月18日

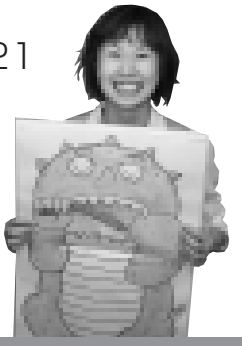
黒川（満70歳）　佐藤　英雄さん　2月19日

小花井（満75歳）　中山　董さん　3月12日

2月15日～3月13日
住民係窓口届出分

健康づくりだより

保健福祉課
健康づくり係
☎44-2121



上仙保健師

お子さんにかかわる健康づくり事業案内

町では、お母さんが妊娠した時期から、赤ちゃんや子どもを育てている世代を対象にした健康づくり事業を行っています。子育ての悩みを相談・解決する場や子育てをしているお父さんお母さん同士の交流の場として、ぜひ気軽にご活用ください。

今回は、今月から変更になった健康づくり事業についてお知らせします。

妊婦健診補助の対象・回数の拡大

妊娠した人は、妊婦健康診査を定期的に受診し、お腹の中の子どもの成長の様子や、妊娠に異常がないかを医療機関で確認します。

町では、妊婦健康診査の一部を2回分補助しているほか、出産予定日に35歳以上の妊婦さんに対して超音波検査料1回分を補助していました。

これらの補助は、今月から次のように変わります。対象となる人には直接ご連絡していますが、4月以前に妊娠届を提出した人も、今回の改正に該当しますのでお問い合わせください。

○妊婦健診の補助を5回に拡大

補助の対象は、検診内容によって異なります。対象外の受診料は自己負担となります。

○超音波検査は全員を対象

現在35歳以上の妊婦さん対象の超音波検査は、全員を対象に1回分の検査費用を補助します。

麻しん・風しん予防接種対象の拡大について

麻しん（はしか）発生予防対策を強化するために、4月1日から5年間の期限付きで、麻しん風しん混合ワクチンの予防接種対象が、現在の第1期（1歳児）、第2期（小学校入学前の1年間にあたる子ども）に加え、新たに第3期（中学1年生）、第4期（高校3年生）まで拡大されます。

町では、この予防接種を4月と10月にニセコ医院で実施します。対象となる人には個別に通知しますので、積極的に予防接種を受けましょう。

健康カレンダーをご利用ください

平成20年度版健康カレンダーが出来ました。このカレンダーには、検診や相談、予防接種の日程など健康に関する事業を掲載しています。年間の計画を立てるのにご利用ください。希望する人は、役場や町民センター、体育館などにありますので、ご自由にお持ちください。また、町内会などでまとめて配布を希望する場合は、ご連絡ください。

平成20年4月1日発行　第552号　ニセコ町公式ウェブサイト　http://www.town.niseko.hokkaido.jp/　携帯電話用ウェブサイト　http://www.town.niseko.hokkaido.jp/mob/
編集発行　ニセコ町企画課　〒048-1595　北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地　TEL 0136-44-2121　FAX 0136-44-3500

再生紙を使用しています。

輝いてるね、この人

No.148

ニセコ町には毎年150万人もの観光客が訪れています。
今月は、ニセコリゾート観光協会のスタッフとして、旅行のプラン作成などに忙しい日々を送る久保登士明さんを紹介します。

ニセコ町を訪れる人にすてきな思い出を持ち帰ってほしい

久保登士明（としあき）さん
（株式会社ニセコリゾート観光協会勤務）

ニセコ町出身の久保さんは現在25歳。札幌で学生生活を送った後、平成18年7月からニセコリゾート観光協会に勤務しています。ニセコ町に戻ってきた理由について、「この町が好きだから地元で働きたかったし、町のために役立ちたいと思ったからです」と久保さんは話します。

国内旅行業務取扱管理者の資格を持つ久保さんは、ニセコ町を訪れる人のために、宿泊施設や体験メニューなどを細かく調べ、旅行プランを立てていきます。「旅行の選択肢は一つではありません。組み合わせが無数にあります」と話す久保さん。ニセコ町には多くの宿があり、温泉があったり料理が自慢だったりと、それぞれに特徴があります。そのなかから人数や予算、好みに合わせて最も喜ばれるような宿を紹介するよう心がけているとのこと。

「お客様が自分で調べて手配する手間を省くのが自分たちの仕事です」と話す久保さんに、今までで一番印象に残っている仕事は何か尋ねると、「みんな印象に残っています。なぜなら、どの旅でも、そのお客様にとっては特別な時間だからです」と答えてくれました。

仕事柄、気をつけているのは「笑顔」と言う久保さんのこれからの目標は、「とにかく旅行業として頑張っていくことですね。ニセコ町を訪れる人にすてきな思い出を持ち帰ってもらい、また町に来ていただきたいと思っています」と笑顔で答えてくれました。

豊かな自然や農産物など、ニセコ町の魅力はたくさんあります。久保さんの笑顔もまた、町の評判に貢献し続けていくことでしょう。

編集後記

去年の秋から短歌を始めました。全然うまくないのですが、短歌になりそうな題材を探しているうちに、身のまわりの細かい出来事に気がつくようになりました。以前は、経験したことさえ気づかずに過ぎていったささいな出来事たち、それらの積み重ねが人生をつくっていると感じたのも短歌の効用でしょうか。（ま）

アスファルト路面が顔を出すこの時期。毎年私は、タイヤ交換の時期に頭を悩ませています。3月中旬は、タイヤがもったいないと思いつつも「まだ雪が降るかもしれないから」と様子をうかがっています。でも4月の中ごろになると、その理由がいつまでも交換しない言い訳に変わっています。今年こそは…。（ろ）

4月は就職・入学・転勤などで新生活をスタートする人が多い季節ですね。この時期、役場の窓口にはさまざまな手続でたくさんの人が訪れています。窓口からは方言が聞こえて来ますが、最近は外国語を耳にします。10年前には想像もできなかった状況です。さて、10年後はどうなっているでしょうか。（し）

人の動き（2月末現在）

人口	4,698（前月比 ±0）
男	2,266（前月比 −1）
女	2,432（前月比 +1）
世帯	2,090（前月比 −3）
外国人登録者	63（前月比 +2）